

信頼性向上プロジェクト全体会議開催

| | |
|-----|-----------------------------|
| 日 時 | 平成30年10月4日(木) 14:00 ~ 16:00 |
| 場 所 | ベルサール八重洲 |
| 参加者 | 34社90名 |

概 要

平成30年10月4日(木)、信頼性向上プロジェクト全体会議が開催されました。冒頭、伏見理事長より、信頼性向上プロジェクトの活動経緯やGE業界を取り巻く最近の情勢等について紹介されました。

続いて、厚生労働省医政局経済課秋楽伸也後発医薬品使用促進専門官からは、「ジェネリック医薬品使用促進を取り巻く現状と課題」として、日本の社会保障費の置かれている状況やジェネリック医薬品使用促進の状況、国の取組み等が紹介されました。

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社の田極春美氏からは、「平成29年度後発品使用促進ロードマップ検証検討委員会報告書～主に平成28年度モニタリング結果～について」として、ロードマップへの企業の取組状況が報告されました。今回の報告の特色は、企業アンケートの対象をジェネリック医薬品企業のみではなく長期収載品企業も対象にしたこと、製造体制(原薬・製剤の製造所・国)、安定供給等の取組みについては、ジェネリック医薬品企業、長期収載品企業に大きな差はなかったということでした。

また、今回の調査結果からは、GE薬協加盟企業はロードマップへの取組みについて、全般で真摯に取り組んでいることが読み取れます。

その一方、安定供給面では、出荷調整や品切れ、製造中止等の対応についての医療機関の不満は依然とあり、ジェネリック医薬品シェア80%達成に向けて、我々 GE業界はより一層の努力が必要と思われまます。



【ロードマップ検証検討事業報告書 厚生労働省サイト 掲載ページ】

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/kouhatu-iyaku/04.html